

登場人物



わたし

この春
パーマかけました。



客子さん

好みのタイプは
アシュトン・
カッチャー。



大垣のおばさん

よりによって
一番派手な服を
この日着ていた。



坊也

仮面○○ダーを
家族で観に来た。

カップル A



敬語が使える
しっかりした
中学生（多分）。

カップル B



髪を触って喜ぶ
休日でも制服の
高校生。

カップル C

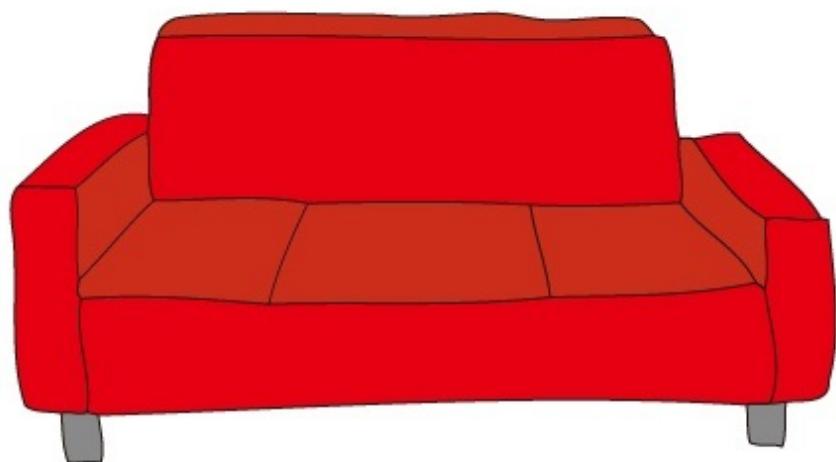


坊也の両親。
かなり若い。

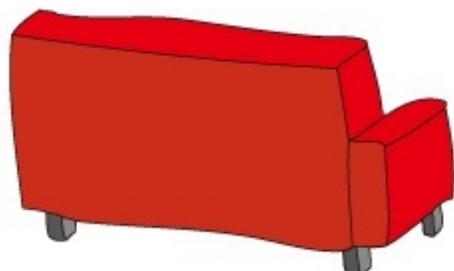
赤色は人間の脳に刺激を与えて
食欲をアップさせたり
時間の経過を早く感じさせる。

それによって客の回転率も上がるため、
飲食店などに用いられている。

わたしのバイト先にある
赤いソファ。



最近カウンターから赤いソファを
眺めていて気付いたこと。



カップルがいちゃいちゃしている。





おじい



おじい



おばちゃんも
気になって
いる様子…



エスカレート。



えっ





あれ何やってるんですか？
おかしくないですか？



わたしも今ちょうど
同じことを考えてました。



は

つ



隣のカップルまで…

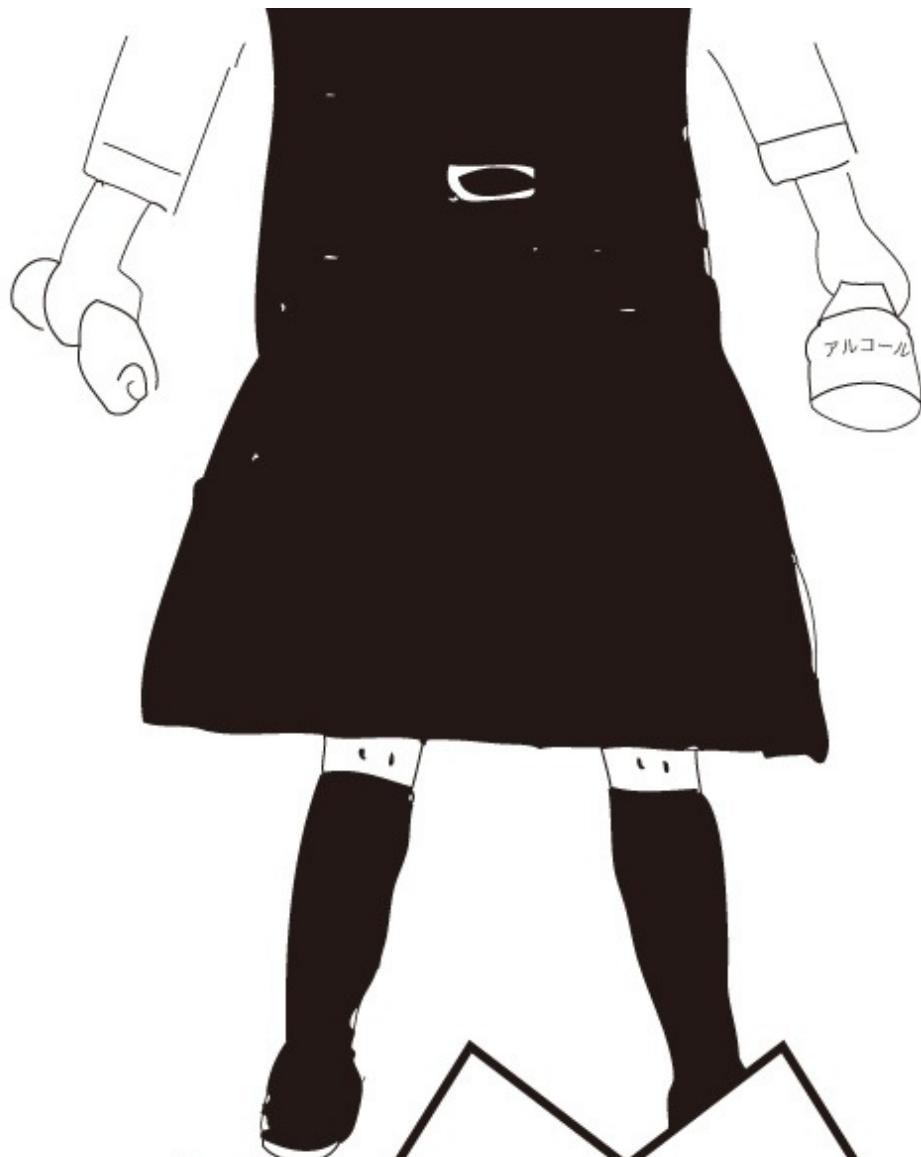


このままでは
まずい！

全力を尽くします！



おねがいします
…目の毒なんで。



大丈夫ですか？！

具合でも悪いんですか

彼、 昨日あまり
寝てないらしいんです。
ただの寝不足なので大丈夫です。



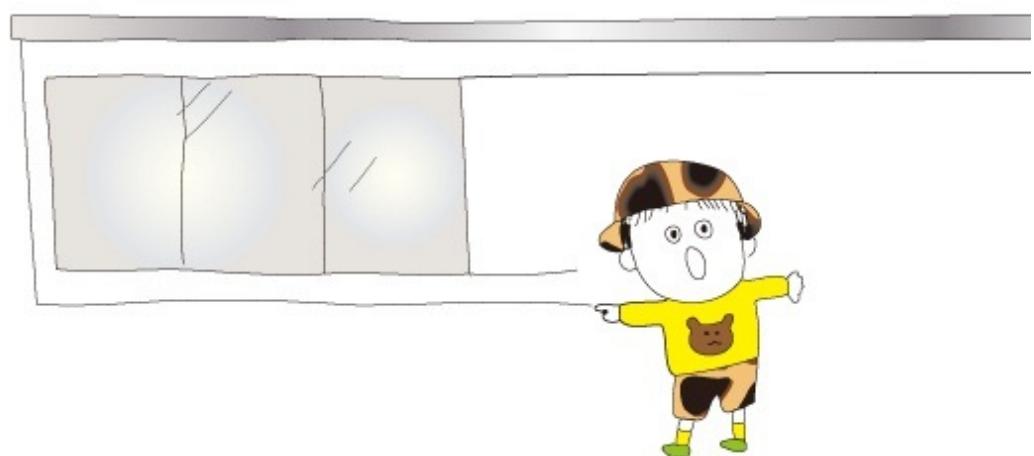
そ、そうですか…



聞き方を間違えた…

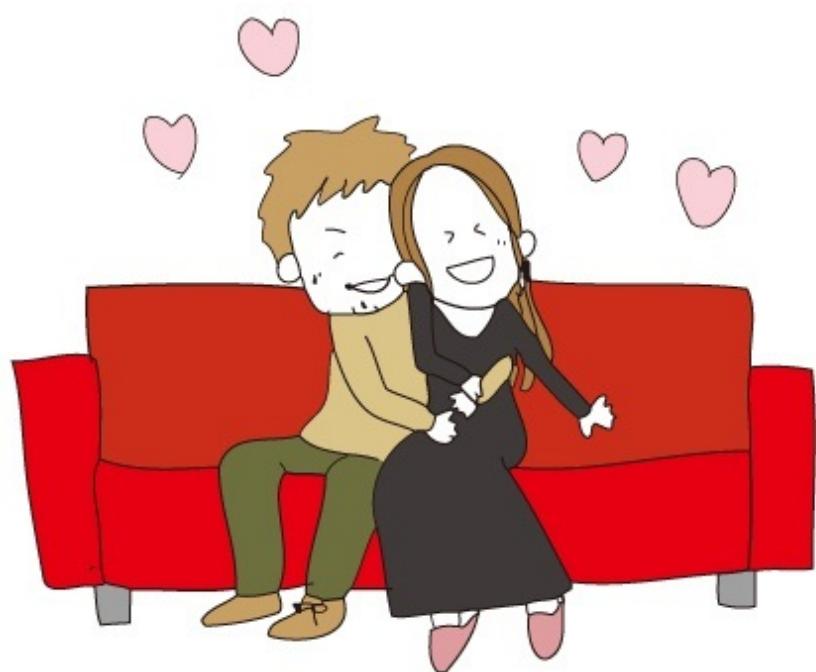
ママー！

これ見て、
すごいよ

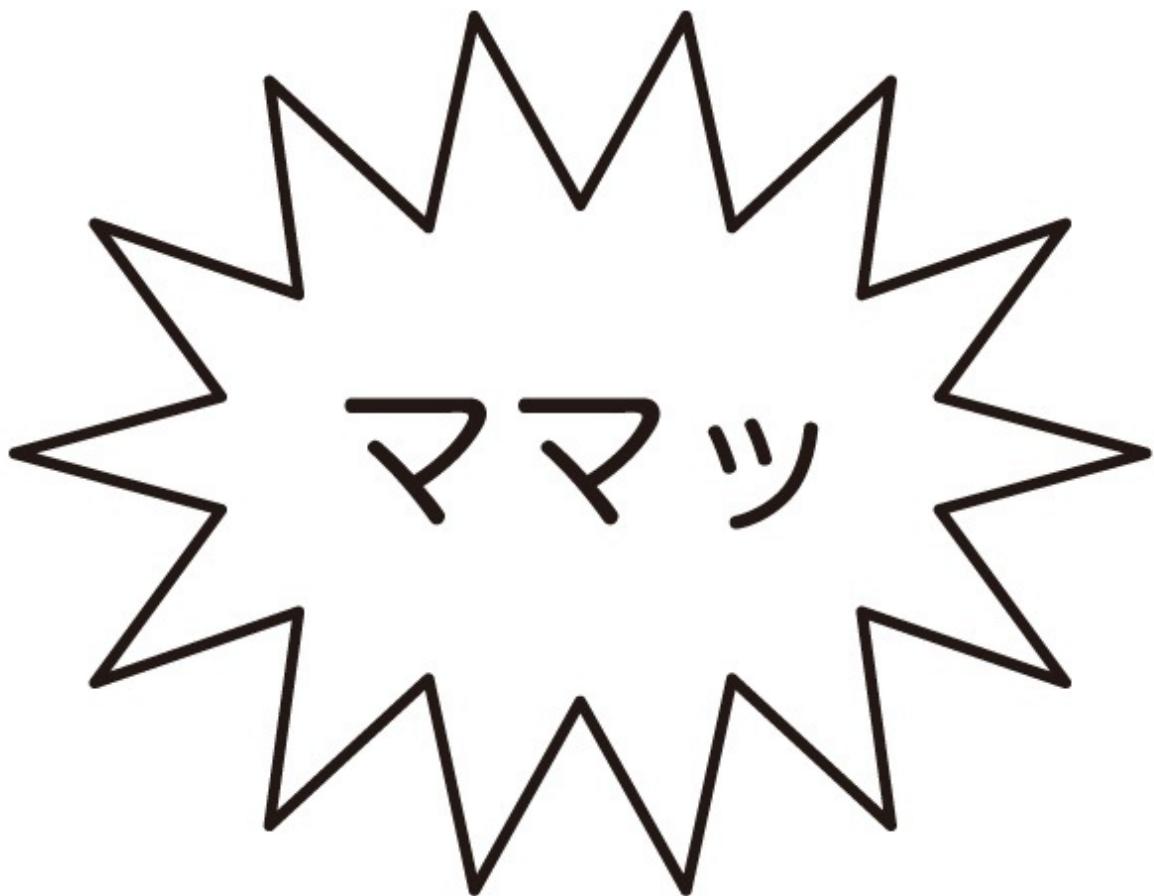


ねえ
ママー

ねーえー
マーマー！！



ママ





…もういいよ…

赤色にはアドレナリンの分泌を盛んにし、
人間を興奮させる効果もあるという。

どうでした？

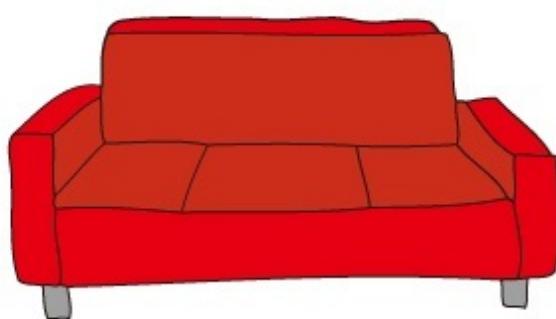




寝不足なんだそうです‥

そんなん知るか！

って感じですよね。



アンデルセンの『赤いくつ』

この物語には“赤”に魅せられ、“赤”に踊らされる主人公・カレンが描かれている。

カレンの意志を無視して、赤いくつを履いた足が勝手に踊り続けるようになり疲れ果てたカレンは足ごと切り落としてしまう。

しかし赤いくつを履いた足は、切られても踊ることを止めようとしない。

アンデルセン童話は時々とても痛々しい。



赤いソファ

<http://p.booklog.jp/book/25321>

著者 : naaaatsuko

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/naaaatsuko/profile>

発行所 : ブログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/25321>

ブログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/25321>